

V 診療業務概要、活動報告

総合内科

1. 概要

高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は増加している。これらは狭心症・心筋梗塞など虚血性心疾患の強力な危険因子であり、総合内科ではとくに糖尿病をメインテーマとして、さらには内臓脂肪の過剰蓄積・耐糖能障害・高血圧・高中性脂肪血症を併せもつメタボリックシンドロームも含めて診療を行ってきた。

総合内科では長らく糖尿病/耐糖能障害、高血圧症、脂質異常症などの外来診療と糖尿病体験入院を行ってきたが、2010年4月より糖尿病・内分泌内科新設に伴い総合内科の入院病床は無くなった。現在、糖尿病外来や教育入院などの糖尿病診療は主に糖尿病・内分泌内科にて行われている。

2010年4月以降、新規を除く糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症などの外来診療を継続するとともに、原因不明の発熱、専門科に振り分けられない初診患者の診療を行っている。

(部長 鳥居 俊男)

座長・司会（医局）

<総合内科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	脳の腫瘍 とくに脳の悪性腫瘍について 豊橋市民病院脳神経外科部長 井上憲夫先生	鳥居 俊男	第59回豊橋市民病院健康教室	2014/3/15
2	がんのお話 豊橋市民病院一般外科第二部長 平松和洋先生	鳥居 俊男	第60回豊橋市民病院健康教室	2014/10/18